

講習カリキュラム等

1 開催型講習カリキュラム

(1) 救命ステップアップ講習

救命入門コース又はWEB講習（消防庁ホームページ）の修了者に対し行う応急手当の知識と技術に関する講習

項 目		時間（分）
救命に必要な応急手当（成人・小児に対する方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法（実技及び呈示）
		A E D の使用法
		異物除去法
		効果確認
	止血法	
合計時間		120

(2) 普通救命講習Ⅰ

応急手当の知識と技術に関する講習

項 目		時間（分）
応急手当の重要性（心停止の予防等の必要性を含む。）		15
救命に必要な応急手当（成人・小児に対する方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法（実技）
		A E D の使用法
		異物除去法
		効果確認
	止血法	
合計時間		180

(3) 普通救命講習Ⅱ

一定の頻度で心肺停止者に応急対応する可能性がある者に対する講習

項 目		時間（分）
応急手当の重要性（心停止の予防等の必要性を含む。）		15
救命に必要な応急手当（成人・小児に対する方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法（実技）
		A E D の使用法
		異物除去法
		効果確認
	止血法	
心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）		60
心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）		
合計時間		240

(4) 応急手当普及員再講習

応急手当普及員養成講習の修了者に対し行う指導要領に関する講習

項 目	時間 (分)
救命に必要な応急手当の指導要領	180
合計時間	180

(5) 応急手当普及員養成講習

普通救命講習の講師を養成する講習

項 目		時間 (分)	
基礎的な 知能技術	基礎知識 (講義)	120	540
	救命に必要な応急手当の基礎実技	240	
	その他応急手当の基礎実技	180	
指導要領	基礎医学・資器材の取扱い要領・指導技法	300	780
	救命に必要な応急手当の指導要領 ※心肺蘇生法に関する知識の確認 (筆記試験)、心肺蘇生法の指導に関する実技の評価 (実技試験)を含む。	360	
	各種手当の組み合わせ・応用の指導要領	120	
効果測定・指導内容に関する質疑への対応		120	
合計時間		1440	

(6) 応急手当指導員再講習

応急手当指導員に対し行う指導要領に関する講習

項 目	時間 (分)
救命に必要な応急手当の指導要領	240
合計時間	240

(7) 乗務員定期講習

患者等搬送業務に必要な知識及び技術の維持向上を図るための講習。
普通救命講習Ⅱと同一のカリキュラムのため、普通救命講習Ⅱと併せて開催すること。

項 目		時間（分）
応急手当の重要性（心停止の予防等の必要性を含む。）		15
救命に必要な応急手当（成人・小児に対する方法）	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法（実技）
		A E D の使用法
		異物除去法
		効果確認
	止血法	165
	心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）	
	心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）	
合計時間		240

2 派遣型講習カリキュラム

(1) 救命入門コース

心肺蘇生法に特化した基礎的な知識と技術に関する講習

項 目		時間（分）
応急手当の重要性（目的・必要性・心停止の予防等）		45
救命に必要な応急手当（成人・小児に対する方法）	心肺蘇生法	
	胸骨圧迫のみの心肺蘇生法（実技）	
	A E D の使用法	
A E D の実技要領	45	
合計時間		

(2) 救命ステップアップ講習

上記 1 (1) に同じ。

(3) 普通救命講習Ⅰ

上記 1 (2) に同じ。

(4) 普通救命講習Ⅲ

乳幼児に対し行う応急手当の知識と技術に関する講習

項 目		時間 (分)	
応急手当の重要性 (心停止の予防等の必要性を含む。)		15	
救命に必要な応急 手当 (乳幼児・新生児 に対する方法)	心 肺 蘇 生 法	基本的心肺蘇生法 (実技)	165
		A E D の使用法	
		異物除去法	
		効果確認	
	止血法		
合計時間		180	